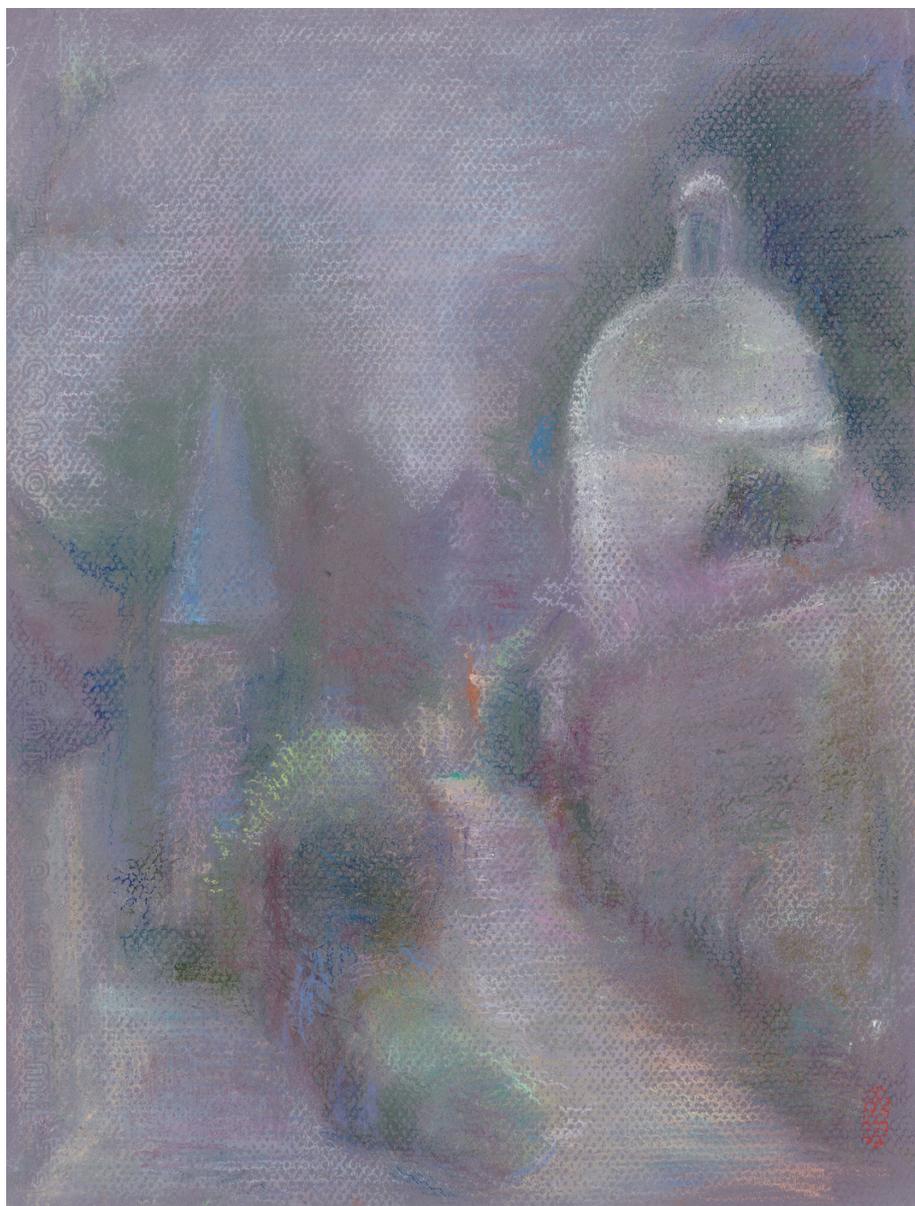


不二

中 高 版

4

2024



初唐三大家 (しよとうさんたいか)

初唐三大家

署名では姓名を記す

(解説は19ページ)

小久保嶺石先生書

分間布白
(ぶんかんふはく)

分間
布白

署名では姓名を記す

(解説は19ページ)

三浦真琴先生書

楷行草
(かいぎようそう)

楷
行
草

署名では姓名を記す

(解説は19ページ)

天艸悠月先生書

かな半紙 (誌友～五段)

課題は段級別です。ご注意ください。

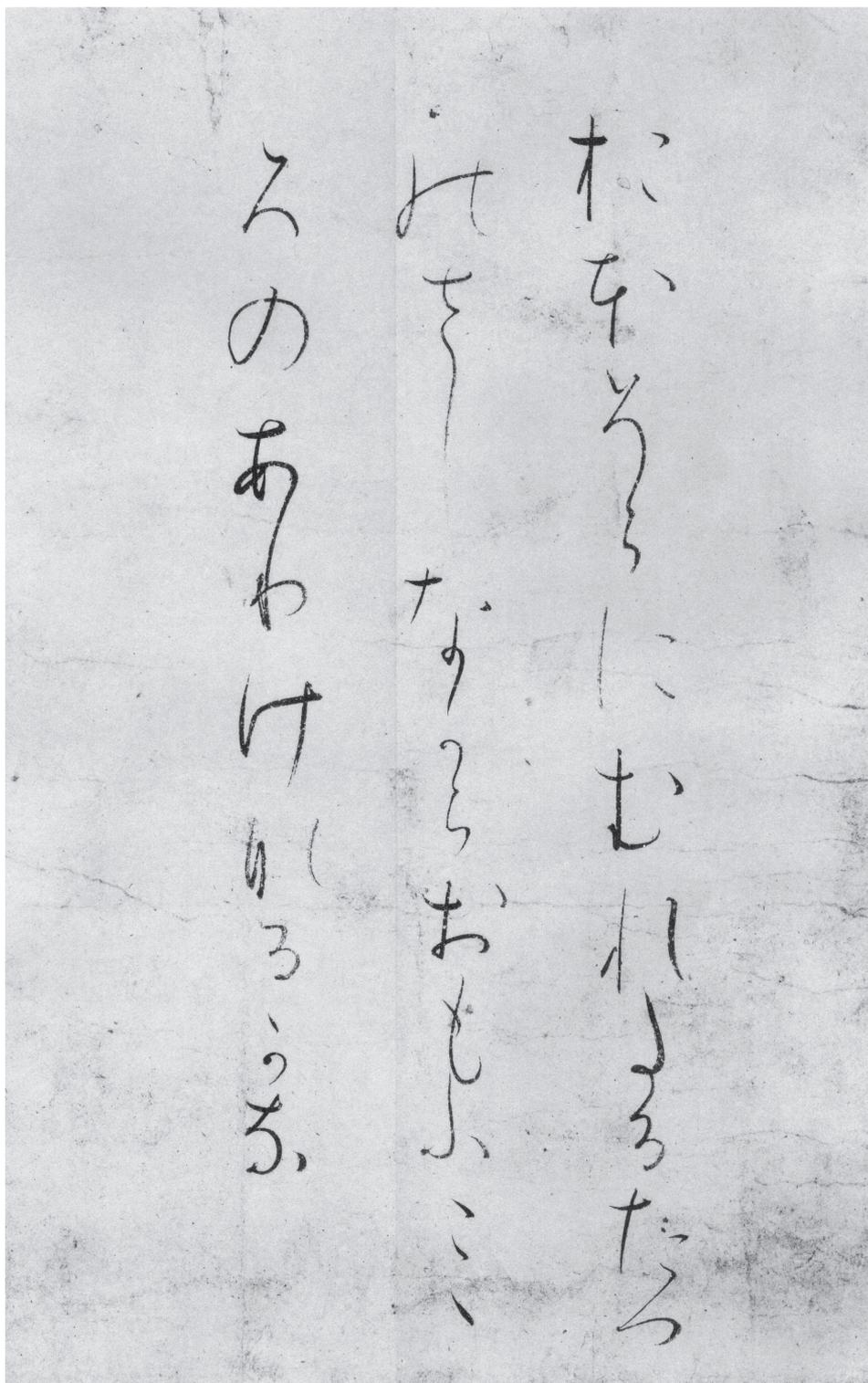
左の『蓬萊切』

を半紙を縦にして臨書しなさい。

於本曾らにむれ多るたつ能さしな可らおもふころのあ利け那る可奈

署名では姓名を記す

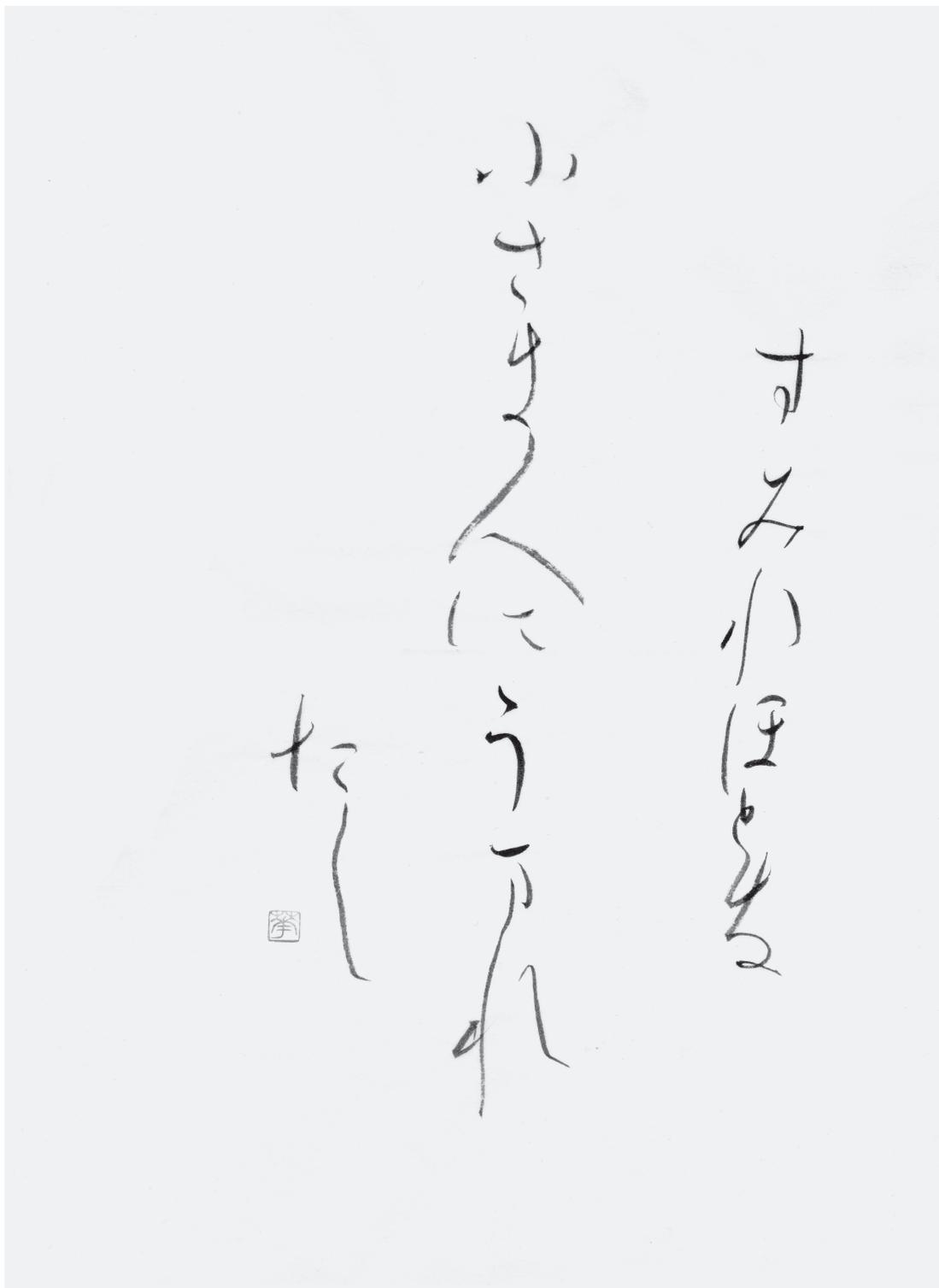
(解説は20ページ)



かな半紙 (四段～初段)

課題は段級別です。ご注意ください。

すみれほと奈なちひ小さ支きひと人ひとにうま万まれたし



署名では姓名を記す

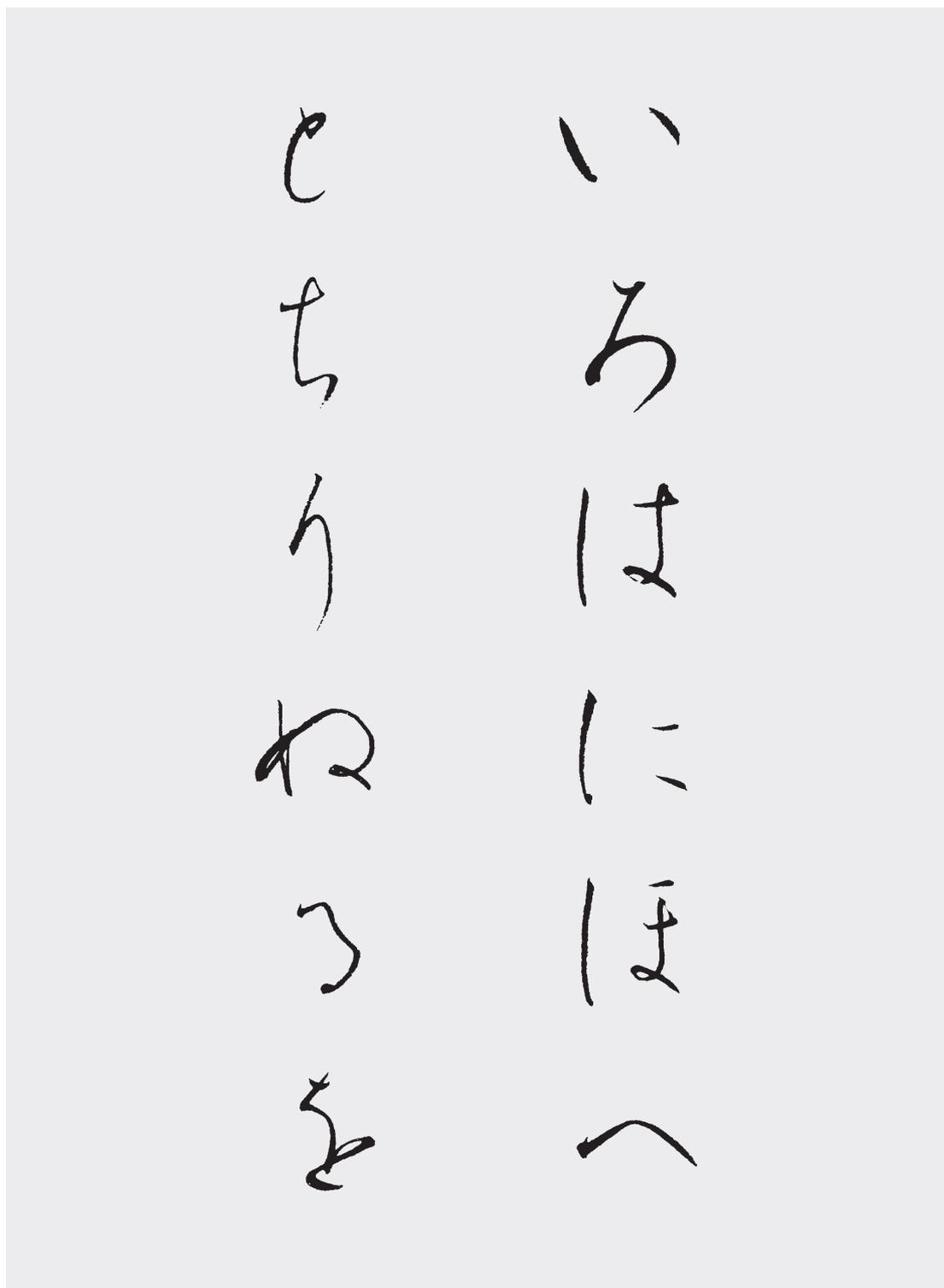
(解説は20ページ)

八尋光華先生書

かな半紙 (1級~10級)

課題は段級別です。ご注意ください。

いろはにほへ
とちりぬるを



署名では姓名を記す

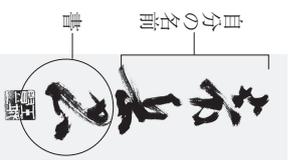
(解説は21ページ)

安東聖空書「梅雪かな帖」より

玉城芳岳先生書



〈落款解説〉



用具・用材
筆 〓 和筆兼毫二号
墨 〓 和墨
用紙 〓 中国画仙紙

(たて 35 cm × よこ 68 cm)

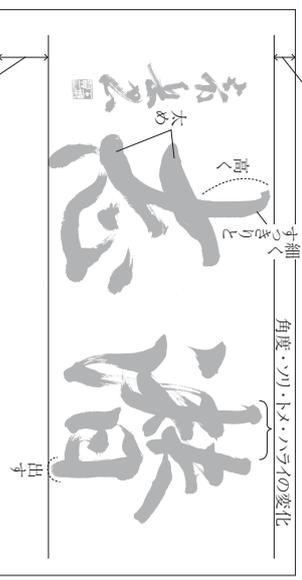
※作品識別のため、作品下部に教室・氏名の鉛筆書きをしてください。
※作品識別のため、作品下部に教室・氏名の鉛筆書きをしてください。

課題 横額「潜志」

〈出典〉『三国志』魏書・陶謙伝注
〈大意〉心を専一にして研究する。

〈解説〉

行書は点画の連続、リズムが大切です。
〇まず鉛筆や半紙で字形・流れを覚えて、一画目から最終画まで自然にならるようにしましょう。
〇墨の潤渾や、線の太細の変化をつけるのと作品に立体感があります。墨の含ませ方や運筆の速度などを工夫してください。



月別出品券とバーコード出品券の貼り方

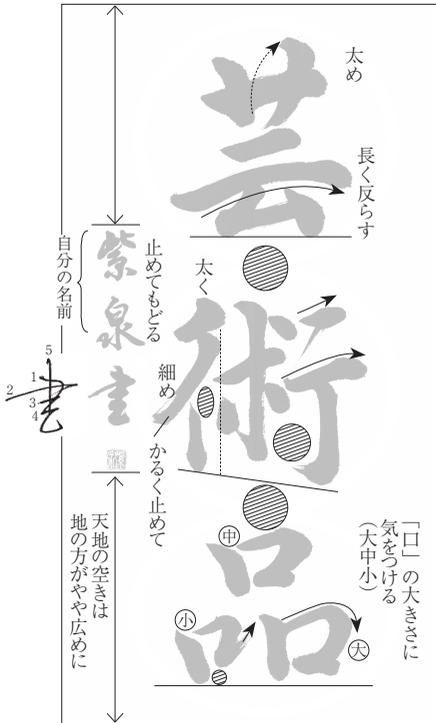
落款	教室名 段 氏名 級
①	月別出品券
②	バーコード出品券

漢字条幅 (1級〜10級) 課題は段級別です。ご注意ください。



中村紫泉先生書

※作品識別のため、作品下部に教室・氏名の鉛筆書きをしてください。



げいじゅつひん
芸術品

〈解説〉

気脈の貫通を心がけ、落款「〇〇書」の書き方をしっかり学ぼう。
※落款とは落成款識の略。

芸：最初の文字は大きくなりすぎないよう丁寧に書きます。横画は右上がりに。

術：画数が多い為、細めの線も取り入れ、懐を広く見せるなど明る

く伸びやかに。

品：三つの「口」の大きさや横画の方向を観察して全体のバランスを考えながらまとめます。

〈用具・用材〉

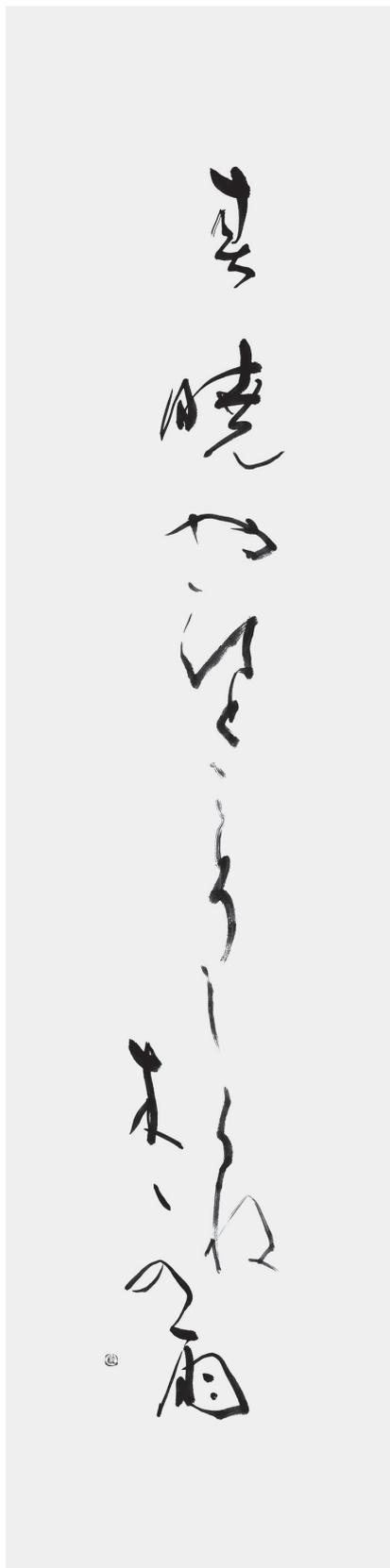
筆 兼毫筆(茶馬毛)

墨 和墨

用紙 中国画仙(たて68cm×よこ35cm)

かな条幅 (誌友く初段)

二宮桂秀先生書

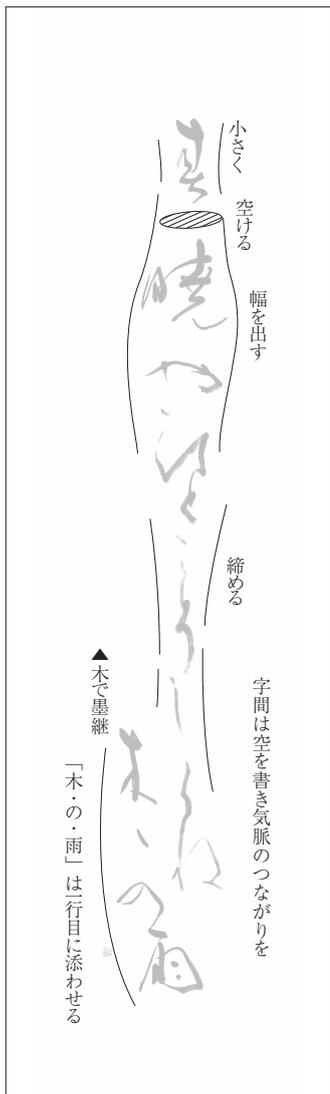


春暁しゅんげうやひとこ曾そしらね木々きぎの雨

〈うた〉 春暁しゅんげうや人こそ知らね木々きぎの雨
 〈出典〉 日野草城 『第三折々のうた』
 〈大意〉 春の夜明け、人の深い眠りにしみ入る
 ように木々に柔らかな春の雨が

〈解説〉 降りそそぐ。けれども人はそれを知らない。
 出だしは静かに始めたい。漢字二文字の

書き出しです。重くならないように春を小さく、力まず腕を大きく動かし大胆に気脈をつなげてのびやかに書き上げたい。字の大小、線の太細、間合いに留意しましょう。

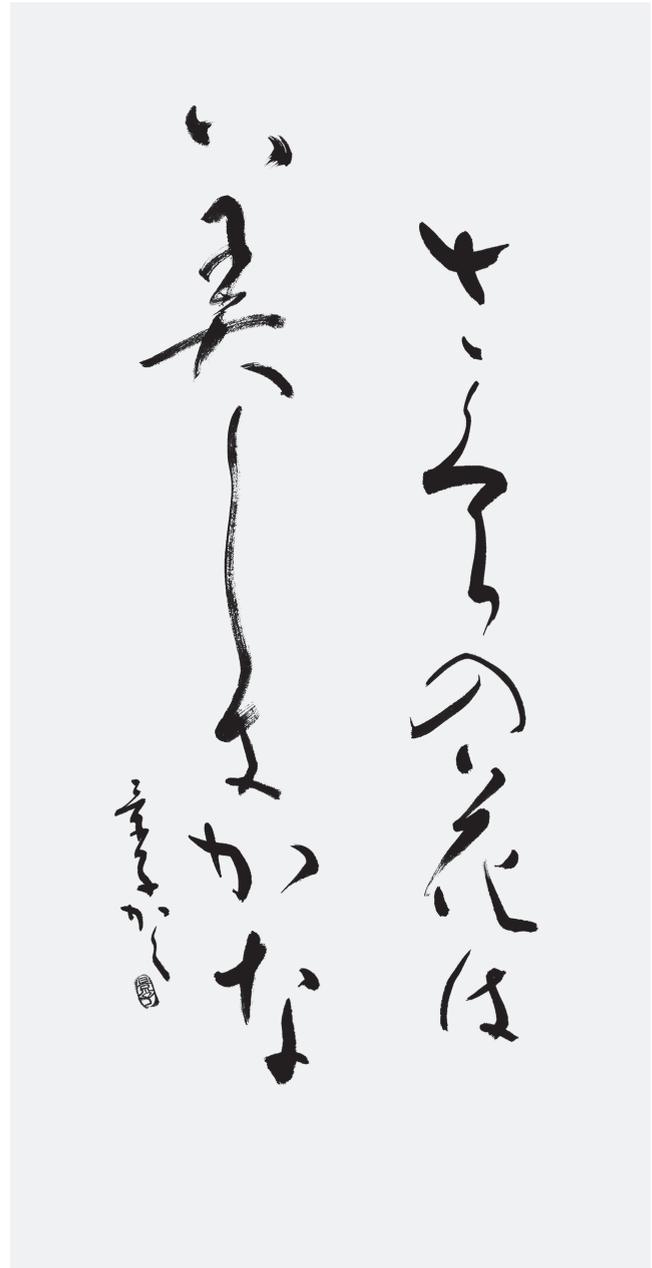


〈用具・用材〉

筆 || 羊毛筆
 墨 || 和墨
 用紙 || かな用加工紙
 (たて136cm×よこ35cm)

※作品識別のため、作品下部に教室・氏名の鉛筆書きをしてください。

かな条幅（1級〜10級）課題は段級別です。ご注意ください。



甲谷景子先生書

※作品識別のため、作品下部に
教室・氏名の鉛筆書きをしてください。

〈用具・用材〉

筆 Ⅱかな用兼毫筆
墨 Ⅱ和墨
用紙 Ⅱかな用加工紙
(たて68cm×よこ35cm)



名前 かく
……右に流しながら本文に添えるように入れる。
教室氏名は墨書しない。

さくらの花は美しかな

〈解説〉

- 難しく考えずに楽しんで書きましよう。
- 重い作品にならないようにしましよう。
- 筆に墨を含ませてから、すぐに書き始めるのではなく、一度いらな紙に余分な墨をこすつてとつてから書くと、重い線にならず、美しいかな文字がかけます。
- ②にしまない紙を使つて下さい。

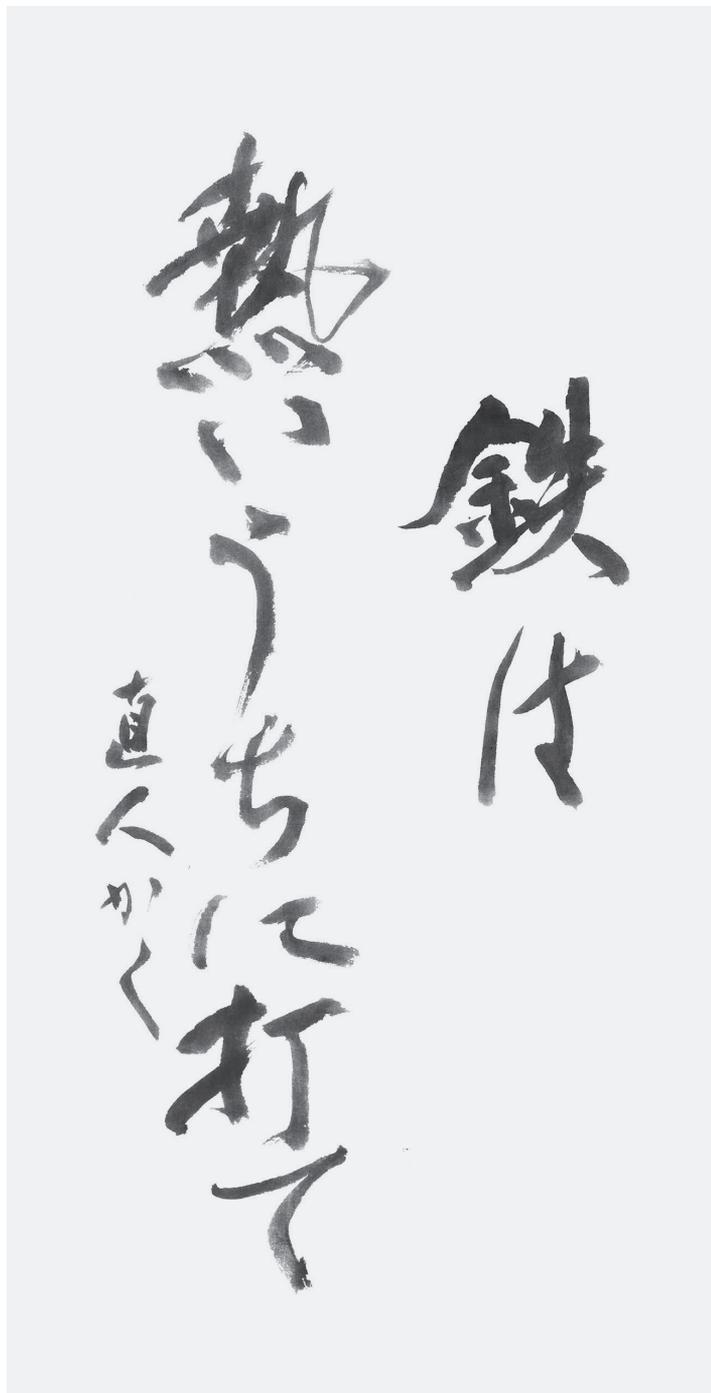
○ 変体仮名を理解してから書きましよう。

① 久く ↓ ↓ ↓ ② 支 ↓ ↓ ↓

※変体仮名については21ページを参照して下さい。

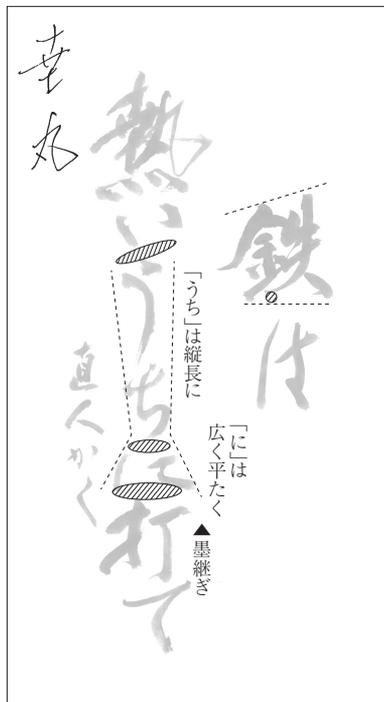
○ 連綿を理解しましょう。かなの各字が切れずに連続して書かれているところが二箇所あります。二字をしっかりと続けて下さい。

① 久く ↓ ↓ ↓ ② し ↓ ↓ ↓



永井香樹先生書

※作品識別のため、作品下部に教室・氏名の鉛筆書きをしてください。



鉄は熱いうちに打て

〈大意〉鉄は熱して軟らかいうちに成形することから、精神が柔軟で吸収力のある若いうちに鍛えるべきであるというたとえ。また、物事は熱意のあるうちに進めることだ、ということ。

〈解説〉

○平仮名続きのところは、文節を考慮して、少し字間をとりましょう。

〈用具・用材〉

筆 || 羊毛三号 墨 || 和墨

用紙 || 漢字用和画仙 (たて68cm×よこ35cm)

急いそがまわば回まわれ

急がば
回れ

署名では姓名を記す

(解説は22ページ)

(用紙 半紙)

内堀信嶺先生書

ペン（八段く初段） 課題は段級別です。ご注意ください。

堀津節子先生書

山道を登りながら、こう考えた。智に働けば角が立つ。
 え。た。智に働けば角が立つ。
 情に棹させば流される。

山道を登りながら、こう考えた。智に働けば角が立つ。

情に棹させば流される。

〈出典〉夏目漱石「草枕」より

〈用具〉つけペン、万年筆またはデスクペン、

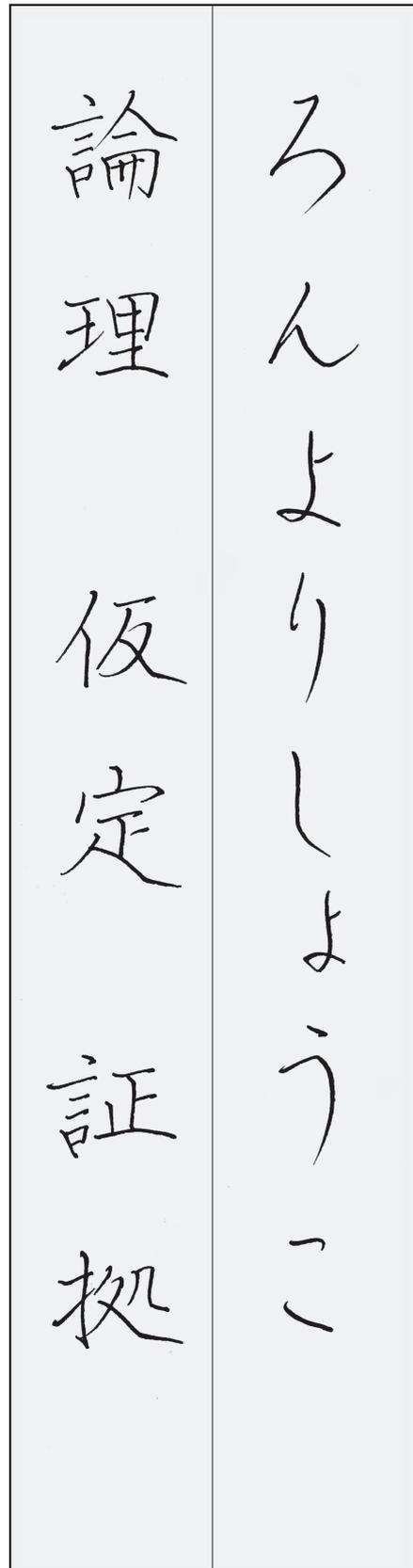
ボールペン インクは黒色

※鉛筆は不可（ご注意ください）

〈用紙〉不二硬筆用紙3行書き

〈解説〉

<p>情に棹させば流される。</p> <p>1 3 2 情 (よみ)</p> <p>1 棹 (右より)</p> <p>次に続けて</p> <p>1 流 (右より)</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100</p> <p>小さな</p>	<p>え。た。智に働けば角が立つ。</p> <p>戻る</p> <p>低く</p>	<p>山道を登りながら、こう考えた。</p> <p>止めて</p> <p>1 3 5 4 2 登りながら、こう考えた。</p> <p>はらう</p>
---	---	--



ろんよりしようこ 論理 仮定 証拠 ※予告と変わっております。

〈用具〉 つけペン、万年筆またはデスクペン、ボールペン
インクは黒色

※鉛筆は不可（ご注意ください）

〈用紙〉 不二硬筆用紙2行書き

〈解説〉

「一字書って面白いな」 ― 筆遣いと筆字の表現 ― 運筆の極意に迫る

「何か、この字への想を込めて書こう」
オモイ

〈かな一字書〉（参考作品）



よ（この平がなの原字は与の草書形）

画数の少ない文字は、線の表現が重要です。一本の線を引く中でも速度や太さの変化を出します。それによってリズム感や墨色・潤濁が表現され文字に表情が出ます。いろいろ試してみましよう。

平仮名は、縦線の起筆と結びでの筆の返りを丁寧に。漢字は、下の横画で筆圧を加えて。その時筆の軸を引く



〈漢字一字書〉（参考作品）



与〈読み〉ヨ・あたえる
〈意味〉あたえる。くみする。ともに。〜と。〜より。

方向へ傾ける。

与の横画を突き抜けない形は、犀水先生の延命十句観音経にもみられます。

※参考手本を倣うだけでなく、「自分はこう書いてみたい」というイメージが湧いたら是非試してください。



（随意課題）
段級に関わりなく出品できます。
評価は天と地になります。

玉城芳岳先生書

◇作品に教室名・姓名は入れません。雅印が無ければ、「夏夫」「夏海」などの自分の名前を書きましょう。漢字一字書には、上手に「夏」と一字入れると引き立ちます。

〈用具・用材〉

筆 Ⅱ 唐筆羊毛

墨 Ⅱ 和墨

用紙 Ⅱ 手漉半紙を縦に使用

※作品識別のため、作品下部に教室・氏名の鉛筆書きをお願いします。
※「月例出品券」及び「バーコード出品券」を貼付し出品してください。

課題解説

漢字半紙(誌友〜五段)……………(3ページ)

初唐三大家(しよとうさんたいか)

〔大意〕 中国の唐代の初期に活躍した書道家で、歐陽詢・虞世南・褚遂良の三人を指す。

〔解説〕

○行書の書きぶりを学ぶ。

○画の多い字と少ない字に、大小や太細をつけ、バランスを取って書く。

初…衣偏の2画目は折り返して戻るように。刀は衣偏より下げる。

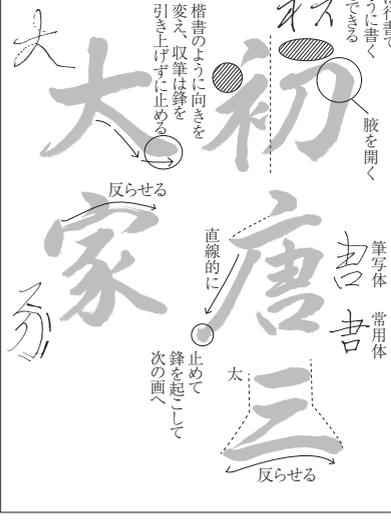
唐…刀は筆写体(横画の長さに変化をつける)。「口」は転折部で腋を開いて鋒をまとめ、行書の柔らかさを表現する。

三…三つの画は、2画目と3画目を繋げる後半をつなぐ。短い画は太目に、長い画はしなやかに反らせる。

大…2画目は1画目の取筆を受ける。3画目は2画目の取筆を受ける。筆脈が大切。3画目の右払い、楷書のように向きを変えて払うが、鋒先を吊り上げずに押さえる。

家…ウ冠は内部を広げるように反らせる。家の3画目は骨力をつけながら懐を広げる。

〔用具・用材〕 筆 永昌四号 墨 油煙和墨 用紙 松雪



漢字半紙(四段〜初段)……………(4ページ)

分間布白(ぶんかんふはく)

〔大意〕 筆画と空間の配布をくふうして、どこも狭苦しいところや広すぎるものがないように(原則として等間隔に線を引くこと)に配慮すること。

〔解説〕

○行書の書きぶりを学ぶ。

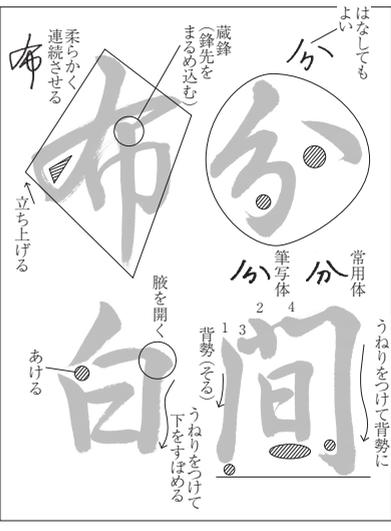
○それぞれの文字の概形を捉え、半紙に四字をバランスよく収める。分…「分」の筆写体のひとつ。概形はほぼ円形にして、やや小さめに書く。筆順の違いに注意し、最終画は全体をまとめるように書く。

間…門構えの代表的な省略形。背勢に構え、縦画はややうねりを加える。目の位置に気を付けてバランスよく書く。

布…1画目は左に流されないようにやや立てて始まり、立ち上がって2画目につなげる。リズムをつけて柔らかく連続させ、最終画は起筆は藏鋒にして一気に通じややかに書く。

白…1画目の取筆、2、3画目の起筆を合わせずに空間を作って明るく見せ、やや小さ目に書く。3画目は転折で腋を開き、縦画はうねりをつけて下をすぼめる。

〔用具・用材〕 筆 信玄 墨 油煙和墨 用紙 手漉漢字用半紙



漢字半紙(1級〜10級)……………(5ページ)

楷行草(かぎようそう)

〔大意〕 楷書・行書・草書

〔解説〕

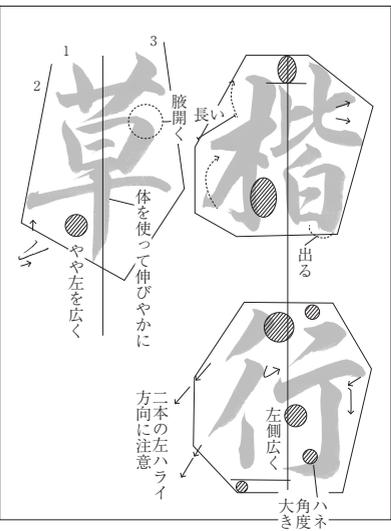
○三文字を楷書に近い行書でバランスよく書く。

楷…木比・白の組み合わせ。きへんは、一画目の横線の左側が長くなるように縦線を書く、偏より旁が下がないようにまとめる。

行…イと子との組み合わせ。ぎようにへべんの二画目、二画目のハライの方向の違いに注意。偏と旁の間の行間を広くとるようにする。

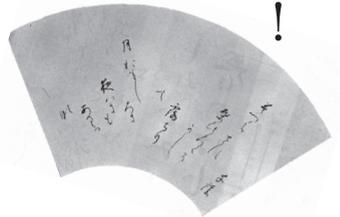
草…卩と日と十の組み合わせ。くさかんむりの書き順はこのように書く場合もある。最後の部分の十は横線の左をやや長くし、最終画の縦線は卩と日の中心になるようにまとめる。

〔用具・用材〕 筆 唐筆 墨 油煙和墨 用紙 手漉漢字用半紙



かなよの世界にようこそ!

私達日本人の遠い祖先の手によって生み出された雅な文字芸術「かな」。今月はかなの学習を始める皆さんに向けてその魅力をお伝えします。



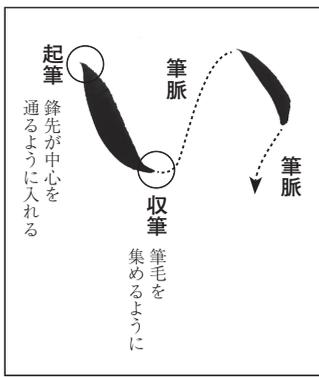
〈用筆〉

軸を立てる↓鋒先が線の中心を通ります。
筆の俯仰を使う↓鋒の表面、裏面、さらには鋒のあらゆる面を用いた表現が可能（八面出鋒といいますが）になります。

〈運筆〉

気持ちに先に立ち、その気持ちに従って筆を運ぶ（意前筆後といいますが）ことにより、呼吸のリズムが生まれます。これによって遅速緩急の変化のある作品となります。

〈起筆と収筆 筆脈〉



起筆 鋒先が中心を通るように入れる

筆脈 筆毛を集めるように

連綿



蓬葉切より

文字と文字をつなげることを連綿といいますが。連綿によって流れやリズムを作ります。伸縮・広狭・疎密があると生き生きとした躍動感が伝わってきますね。

〈用具・用材〉

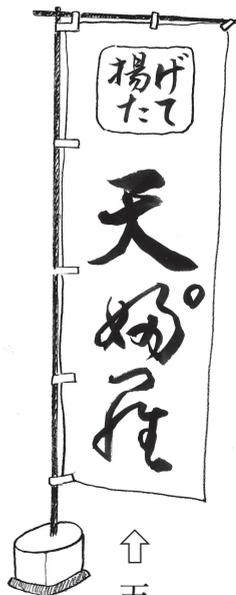
紙⇨ 滲みの出にくいかな用の加工紙を使いましょう。料紙と呼ばれる優美な伝統工芸品は、かなの作品を大いに引き立てます。

墨⇨ 必ず磨ったものを使います。

筆⇨ 細字かなには鋒が鋭い柳葉筆や玉毛などが良いでしょう。丁寧に扱い、鋒先の命毛がなくなったら新しい筆を用意しましょう。

変体仮名

明治三十三年に制定された四十八字の平仮名に対し、その四十八字に選ばれなかった仮名を変体仮名と呼びます。難しそうに見えますが、すでにいろいろな場所でのこの変体仮名を目にしているかもしれません。

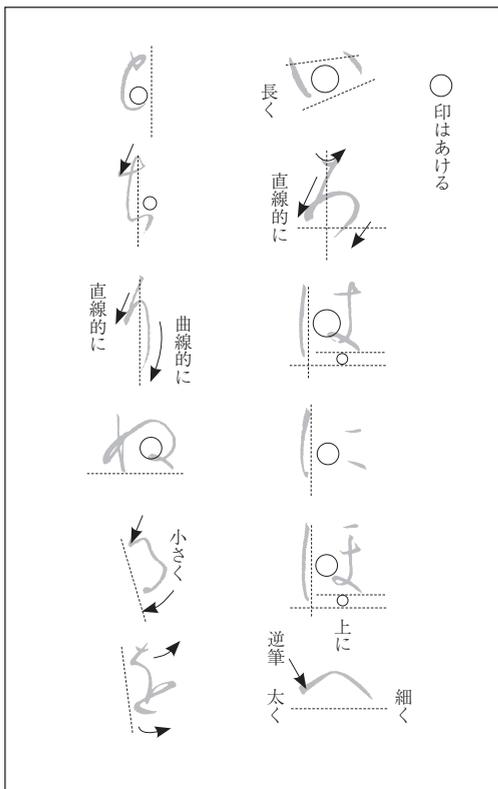


↑ 天婦羅

※ ● は変体がなです



おたをる 御多越留



○ 印はあける

長く

直線的に

直線的に

曲線的に

小さく

逆筆

太く

細く

急がば回れ

解説 内堀信領先生

〔大意〕 焦って成功を求め失敗を繰り返すより、着実に前進する方が成功への近道である
 と言ふことのいましめ。書においても「基礎からしっかり学ぶ」です。

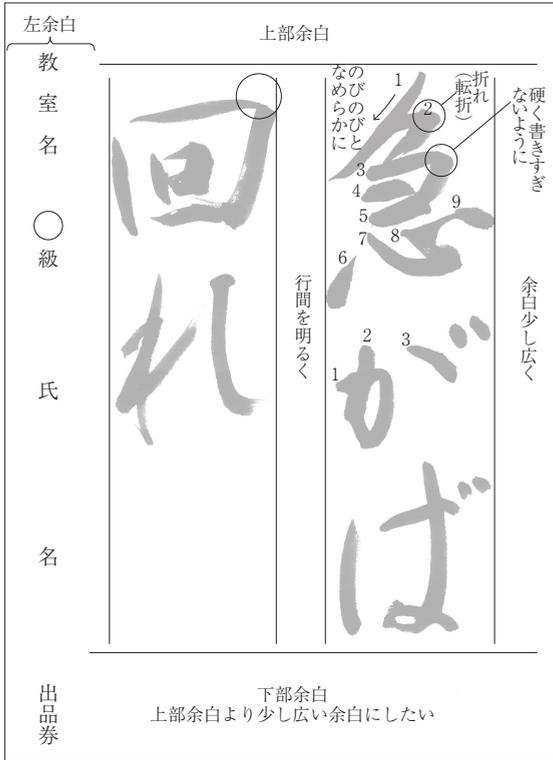
〔解説〕

新和様を初めて書く人は特によく読んでください。

- 1、筆遣いは、ゆったりとした呼吸と、点画(線)から、点画への流れを大切にしたい。
- 2、始筆(はじめ)、終筆(止め)、転折(折れ)を力まずに柔らかに書きたい。
- 3、今回の作は、紙面の上下・左右の余白に、少しのゆとりを持たせてみたい。

〔用具・用材〕

筆 宿純羊毫毛中楷 (0.7×2.8) 墨 古心 用紙 玉蘭



教室名・姓名・級は左余白の中央部に書くこと全体の調和がよくなる

左余白
 教室名 ○ 級
 氏 名
 出品券

下部余白
 上部余白より少し広い余白にしたい

◆5月号課題予告

漢字半紙

誌友 5段 古今和歌集

四段 初段 伝承筆者

1級 10級 造像記

かな半紙

誌友 5段 めつらしきちよのね農日のためし尔は

四段 初段 万つ遣ふをこ曾ひ久へ可利介禮

1級 10級 家々や菜の花いろの燈をともし

扁額
 誌友 初段 清風

漢字条幅

1級 10級 印象派

かな条幅

誌友 初段 葉桜の中の無数の空さわぐ

1級 10級

五月雨をあつめてはやし最上川

新和様

八段 初段

近しき仲にも礼儀あり

1級 10級 三つ子の魂百まで

ペン

八段 初段 メロスは激怒した。必ず、かの邪智暴虐の王を

1級 10級 除かなければならぬと決意した。

はなよりだんご

風流 実利 尊重

※課題は変更になることがあります。

競書出品要項

① 中高版を購読する会員は、会員として登録し、月例競書の課題を出品し、審査を受けることができます。

(1) 成績は誌上に発表し、優秀作品は写真版とします。

(2) 課題出品は10級から始め、審査によって一階級ずつ昇級します。

(3) 昇級を認める場合は、氏名の上に○印をつけて発表しますので、その部門は、次回出品の時は一階級上の級位で出品して下さい。

(4) 1級から八段の方は昇格・昇段試験によって昇格・昇段します。

(5) 誌友について

漢字誌友は漢字半紙及び漢字条幅で準誌友になられた方、かな誌友はかな半紙及びかな条幅で準誌友になられた方が得ることができます。

(6) 昇格・昇段を認めた場合は、昇格・昇段した段・格位で発表します。次回出品の時は、新しい段・格位で出品して下さい。1級から初段に、及び四段から五段に昇段した場合は、課題が変わりますので、特に注意して下さい。

(7) 出品する作品は必ず該当月号の課題を書いて下さい。4月号の課題は4月に審査されます。

出品の際には最新保有段級を確認し、段級間違いのないよう出品してください。

4月の審査結果は令和6年6月号に発表となります。

(8) 出品作品には必ず「バーコード出品券」と月別出品券の両方を貼付して下さい。月別出品券を紛失した場合は一部門ごとに郵便小為替400円(受取人欄に公益財団法人日本書道教育学会と記入)を同送してください。(切手代用不可)

(9) 課題提出期間は厳守して下さい。

(10) 封筒には「4月号競書在中」と、朱で明記して下さい。

② 会員登録する時点で、すでにある程度の書歴がある方は編入試験を受けて、相当する級位からスタートできます。「編入試験のご案内」を御覧下さい。

③ 出品作品は返却しません。審査されなかった作品も同じです。

④ 月例、昇格・昇段審査の結果に対する異議は受けつけません。

⑤ 二年間全く出品されなかった場合は、登録リストから休学者リストに移行します。再度競書出品をなさる場合、再登録手続きが必要となります。

〈競書送り先・持参先〉 〒101-8358 東京都千代田区西神田2-1-13

公益財団法人 日本書道教育学会 | 4月号競書在中 | (朱書)

TEL 03-3234-1395 FAX 03-3234-1354

競書作品を出品しよう！

◆バーコード出品券・月別出品券の貼り方

← 個人会員は住所の頭部二文字など自分で決めてください。

← 有段者(誌友・準誌友)はここに赤で漢数字

1~10級の人はここに黒で算用数字

← 毎月不二誌に掲載される月別出品券(該当部門のもの)を貼付してください。貼付のない作品は、審査されません。

教室名
段
氏名
級

バーコード出品券と月別出品券の2枚が貼られていない作品は、理由の如何にかかわらず、審査いたしませんのでご注意ください。

※バーコードの発行が間に合わない場合、初回のみバーコード出品券は必要ありません。作品左下に「バーコード申請中」と朱書きしてご出品ください。

〈4月号競書出品期間〉 締切厳守 締切を過ぎて届いた作品は審査されません

4月1日(月)~4月10日(水) 必着

最新保有段級を見て出品のこと。

*5月号は4月1日(月)~4月3日(水)に発送いたします。

*5月号誌上発表の成績(3月号競書作品成績)は本会ホームページ(3月27日(水)に更新)でもご確認頂けます。IDは 6494。

月別出品券を紛失した場合は、かわりに一部門ごとに郵便小為替400円を同封してください。

中高版 ペン 2024.4月号	中高版 漢字一字書 2024.4月号	中高版 かな一字書 2024.4月号
中高版 かな半紙 2024.4月号	中高版 かな条幅 2024.4月号	中高版 日常の文字 2024.4月号
中高版 漢字半紙 2024.4月号	中高版 漢字条幅 2024.4月号	中高版 新和様 2024.4月号

4月号 月別出品券

- バーコード出品券は作品左下に貼付してください。
- *バーコード部分は汚れたり、切り離したりしないでください。
- *色付きのバーコード出品券は、原本です。コピーしたものをお使いください。

○バーコード出品券の記入のしかた

段級を記入してください。(段は赤で左に漢数字で、級は黒で右に算用数字で)

*作品に記入した段級と一致しているか確認してください。

*この出品券がないと成績発表できません。



出品部門に○をつけてください。

*原本をコピーしたものに、ご自分のよく出品される部門を書き入れてからコピーをとると、出品のとき○をつけるだけなので便利です。

下記の手続きは左頁の申し込み書をご使用ください。

■新規会員登録 ①新規会員登録申し込み書

「不二」「ぺんの力」の競書出品には、あらかじめ「新規会員登録」が必要です。

「新規会員登録申し込み書」に必要事項をご記入の上、返信用封筒（切手貼付）と共にお早めにお申し込みください。お申し込みより1か月ほどでバーコード出品券を発行いたします。

- ご出品いただく誌別を○で囲んでください。
 - 幼年～高校生の方は学年をご記入ください。
 - お名前・フリガナをご記入ください。雅号をご記入の方は、雅号での登録となります。
 - 登録する本人のお住まいの都道府県名をご記入ください。
 - 二文字以内で教室名をご記入ください。教室へ所属していない方も教室名の登録が必要です。（住所や名前の一部、アルファベット、数字なども可）
 - 登録する本人の住所・連絡先をご記入ください。本人住所が未記入の場合、会員登録・バーコード出品券の発行はできません。
 - 教室長または世話係（既に不二誌の購読をされている場合、代表者の方）がいらっしゃる場合のみ、ご記入ください。
- *「会費申し込み」欄は現金書留で会費をお送りいただく方のみご記入ください。指定口座振込の場合は記入の必要はありません。
- 教室又は世話係でとりまとめて会誌を購読する場合は別途部数変更のお手続きをお願いいたします。
 - 現金書留で会費をお送り頂いた場合は、「会費申し込み」に記載された会誌を個人宛てにお送りいたします。なお、会費は前納制となっております。会費の納入は6ヵ月分または12ヵ月分いずれかでご入金ください。
- ※指定口座へお振り込み頂く場合は別途ご案内用紙「不二誌新規購読申し込みのご案内」を参照ください。（お手元にはない場合は会誌係までご請求ください）

以上を用紙にご記入の上、返信用封筒（定型最大12cm×23.5cm。住所・氏名を記入、110円切手貼付のこと）、を同封し、上記までお送りください。現金書留の場合は会費と合わせて新規登録申し込み書と返信用封筒を同封ください。

<編入試験課題のご案内>

新規会員の方は10級から出品することを原則としていますが、編入試験は他の会で既に段級を取得している方、通信教育講座や書学院を受講した方で、実力相応の段級に編入を希望する方のために実施しているものです。詳細は弊会ホームページ（QRコードよりアクセス）をご覧ください。編集部までお問い合わせください。（公益財団法人 日本書道教育学会 編集部 ☎03-3234-7461）



<https://www.nihonshodou.or.jp/fuji/kadai.html>

■バーコードの変更 ②変更・再発行申し込み書

登録の教室名・名前を変更する方

例…「千代」教室より「神田」教室へ変更したい。

「不二太郎」より「不二書翠」へ変更したい。

- *年度の切り替わりで初級版→上級版→中高版→一般版・ぺんの力に移行する際は、バーコードはそのまま使用できます。
- *一般版とぺんの力のバーコードは共通です。

■バーコードの再発行 ②変更・再発行申し込み書

バーコードの原本を紛失し、再発行を希望する方

必要事項ご記入の上、手数料と共に会員登録係までお送りください。（各種手数料と入金方法は以下の一覧表を参照ください）

登録関係	手数料一覧	一般版・ぺんの力	中高版	上級・初級版
新規登録		無料	無料	無料
変更		650	550	500
再発行		650	550	500
段級復活		2,000	2,000	2,000
再登録（10級から）		無料	無料	無料

■段級復活 ③段級復活申し込み書

「不二」各誌および「ぺんの力」では、2年以上上の部門にも競書出品のない方は、登録者リストより休学者リストに移行します。

再度競書出品をなさる場合、再登録手続きをすることで過去に取得した段級が再認定されます。

- *段級を復活せず10級から始める場合は再登録料は必要ありませんが、会員番号の再登録が必要なため出品前に一度ご連絡ください。
- *復活希望の学年によっては、当時の段級から切替えが必要になる場合があります。詳しくは会員規定を参照ください。

必要事項ご記入の上、手数料2,000円と共に会員登録係までお送りください。名前や教室名を併せて変更したい場合は備考欄に記載してください。（変更手数料は段級復活手数料2,000円に含まれます。）

■入金方法

指定口座振込	ゆうちょ00100-7-325693（（公財）日本書道教育学会 手数料口）*会費口とは別
現金書留	必要手数料（現金）と申込用紙を同封の上お送りください
定額小為替	定額小為替と申込用紙を同封の上お送りください
会費付け替え	教室長のみ（別途付け替え手数料330円がかかります）

漢字かな交じり書と漢字造型の二つの新しい書美の探究を目指す

第37回 不二現代書展

会場 兵庫県立美術館ギャラリー棟 3階 ギャラリー
(兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1丁目1-1)

第一会期 令和6年3月26日(火)～28日(木)

26日(火) 15時開展～18時(入場は17時30分まで)
27日(水) 10時～18時(入場は17時30分まで)
28日(木) 10時～15時閉展

展示作品 文部科学大臣賞・兵庫県知事賞 他 特別賞作品(公募および役員)
公募賞候補入選および入選作品

第二会期 令和6年3月29日(金)～31日(日)

29日(金) 10時～18時(入場は17時30分まで)
30日(土) 10時～18時(入場は17時30分まで)
31日(日) 10時～14時閉展

展示作品 文部科学大臣賞・兵庫県知事賞 他 特別賞作品(公募および役員)
審査会員および無鑑査作品

【主催】公益財団法人 日本書道教育学会
【後援】文化庁・兵庫県・神戸市・神戸市教育委員会

	会員番号
不二教室	
段級	名前
漢字半紙	
かな半紙	
漢字条幅	
かな条幅	
新和様	
ペン	

不二
書道手帳
2024

2024年4月号の

小学上級版

小学初級版

中高版

に付録!

- ・4月号の付録として初級版・上級版・中高版それぞれ一冊ご注文につき、書道手帳一冊を進呈いたします。
- ・4月号の追加注文に限り冊数分を同送いたします。(4月号の在庫がなくなり次第終了)
- ・この手帳は4月号の付録品のため、販売はしていません。



表紙・内容は変更される場合があります。

B6版 36ページ(予定)

【お問い合わせ】「公益財団法人 日本書道教育学会 会誌係」 電話 03(3234)3918